

注3

大学番号：私141

[平成27年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

神奈川工科大学 工学部 臨床工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人幾徳学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営管理本部 総務課
職名・氏名	ジュンカチョウダイリ オカワ マナミ 准課長代理 小川 真奈美
電話番号	046-241-1214
（夜間）	090-4099-7350
F A X	046-241-6828
e-mail	soumu@kait.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<臨床工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1-4
2. 授業科目の概要	5-8
3. 施設・設備の整備状況、経費	9-10
4. 既設大学等の状況	11-12
5. 教員組織の状況	13-19
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21-22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人幾徳学園

(2) 大学名

神奈川工科大学

(3) 大学の位置

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカベ ケンイチロウ) 中部 謙一郎 (平成14年8月)		
学長	(コミヤ カズミ) 小宮 一三 (平成21年4月)		
学部長	(ナルミ アキラ) 鳴海 明 (平成27年4月)		
学科長	(マツオ タカシ) 松尾 崇 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 臨床工学科 学士(工学)	4年	40人	0人 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40人 (0) [0]	0人	人	人	人	人	人	人	1.10倍	1.10倍	
志願者数	253 (0) [0]	0 (0) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	246 (0) [0]	0 (0) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	103 (0) [0]	0 (0) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	44 (0) [0]	0 (0) [0]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.10										

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 44	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/	/	/	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/	/	/	/	/	/	[] ()	[] ()	
計	[-] (-) 44		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	44 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	44 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 臨床工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基盤教育	導入系	スタディスキル	1前	1								兼1	
	倫理系	生命倫理	3前後	2								兼1	
	a群	暮らしの経済	1後・2前後		2		1						兼1
		日本国憲法	1後・2前後		2		0 +						兼1 兼3 担当教員の辞退(27)
		日本近現代史	1後・2前後		2								兼1 担当教員の辞退及び追加(27)
		ヨーロッパの歴史と文化	1後・2前後		2		1						兼1
		アジアの文化と社会	1後・2前後		2								兼1
		少子高齢化と社会問題	1後・2前後		2			1					兼1
		マスメディア論	1後・2前後		2		0 +						兼1 兼2 担当教員の辞退(27)
		宗教と倫理	1後・2前後		2								兼1
		比較文化論	1後・2前後		2			1					兼1
		芸術論	1後・2前後		2								兼1
		社会参加とボランティア	1後・2前後		2								兼1
		国際化と異文化理解	1後・2前後		2								兼1
		現代社会の心理学	1後・2前後		2		0 +						兼2 担当教員の辞退(27)
		環境論	1後・2前後		2								兼1 担当教員の辞退及び追加(27)
	人文社会科学演習	3前後		2		1						兼1	
	b群	哲学	2後・3前後		2								兼1
		倫理学	2後・3前後		2								兼1
		文学	2後・3前後		2								兼1
		教育学	2後・3前後		2			1					兼1
		心理学	2後・3前後		2		1						兼2
	c群	政治学	2後・3前後		2								兼2
		経済学	2後・3前後		2		1						兼2
		法学	2後・3前後		2		1						兼2
		社会学	2後・3前後		2			1					兼2
		企業と経営	2後・3前後		2								兼1
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1		1						兼2
		健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1		1						兼2
		レクリエーションスポーツ	2前		1								兼1
		生涯スポーツ実技	2後		1								兼1
		学外スポーツ	1・2・3・4		1		2						兼2 兼5 担当教員の辞退(27)
英語基礎系	英語Ⅰ	1前		1		1						兼1 兼2 担当教員の辞退(27)	
	英語Ⅱ	1前後		1			0 +					兼2 担当教員の辞退(27)	
	英語Ⅲ	1前後・2前		1		2 +						兼2 兼3 担当教員の辞退及び追加(27)	
	英語Ⅳ	1後・2前後		1			1					兼1 兼3 担当教員の辞退(27)	
	英語Ⅴ	2前後		1								兼3	
	英語Ⅵ	2後		1								兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通基盤教育	言語応用系	英会話 I	1前		1							兼9 兼5	担当教員の辞退及び追加(27)	
		英会話 II	1後		1							兼7 兼4	担当教員の辞退及び追加(27)	
		英会話 III	2前		1							兼1	担当教員の辞退及び追加(27)	
		英会話 IV	2後		1							兼1	担当教員の辞退及び追加(27)	
		TOEIC I	2後・3前		1			1				兼1		
		TOEIC II	3前後		1		1					兼1		
		文章表現技術	1後・2前		2			0 +				兼8 兼9	担当教員の辞退及び追加(27)	
		プレゼンテーション技術	2前後		2			1				兼5		
	技術文章の書き方	3前後		2		1					兼1			
	数理情報系	身の回りの数学	1・2・3		2		1					兼2		
		実感する科学 I	1・2・3		2		1 2					兼1 兼2	担当教員の辞退(27)	
		情報リテラシー	1前		2			1				兼2 兼1	担当教員の辞退及び追加(27)	
	小計(50科目)		—	3	79		10	6 5	0	0	0	兼63 兼58	—	
	専門基礎科目	人体の構造及び機能	医学概論	1前	2			1						
解剖学			1前	2			1							
基礎医学実習			1後	2			5	3		1				
医学的基礎		公衆衛生学	1後	2									兼1	
		生理学	1後	2				1						
		病理学	2前	2			1							
		生化学	2前	2									兼1	
		免疫学	2後	2									兼1	
		薬理学	2後	2									兼1	
		看護学概論	2前	2									兼1	
理工学的基礎		電気工学 I (直流回路、交流回路)	1前	2			1							
		電気工学 II (過渡現象、電磁気学)	1後	2			1							
		電気工学実習	1後	1			1							
		電子工学 I (基礎)	2前	2				1						
		電子工学 II (発展)	2後	2				1						
		電子工学実習	2後	1				1						
		医用電気電子工学実習	3前		1			1						
		機械工学	1後	2			1							
		機械工学演習	1後	1			1							
		材料工学	2後	2				1						
		計測工学	2前	2			1							
		応用数学	1前	2			1							
応用数学演習		1前	1			1								
医療情報技術とシステム工学の基礎		医療統計学	2後		1			1						
		システム制御工学 I (基礎)	3前	2			1							
		システム制御工学 II (発展)	3後	2			1							
		システム制御工学実習	3前	1			1							
	情報処理工学	1後	2			1								
	情報処理工学実習	1後	1			1								
医療情報セキュリティ	3後		2			1					兼1			
小計(30科目)		—	48	4		5	4	0	1	0	兼5	—		
専門科目	医用生体工学	医用工学概論	1前	2			1							
		生体計測機器学 I (基礎)	1後	2				1						
		生体計測機器学 II (発展)	2前	2			1							
		生体計測機器学実習	2前	2			5	3		1				
		生体物性工学	3前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用機器学	医用機器学概論	1前	2			1					
		医用治療機器学Ⅰ（基礎）	2前	2				1				
		医用治療機器学Ⅱ（発展）	2後	2						1		
		医用治療機器学実習	2後	2			2	1		1		
		放射線概論	3前		2		1					
		画像診断機器学	3後		2		1					
	生体機能代行技術学	生体機能代行装置学Ⅰ（基礎）	2前	2				1				
		生体機能代行装置学Ⅱ（発展）	2後	2			1					
		血液浄化装置学	2後	2			1					
		呼吸療法装置学	3前	2				1				
		体外循環装置学	3後	2						1		
		生体機能代行装置学実習Ⅰ（基礎）	3前	2			2	1		1		
		生体機能代行装置学実習Ⅱ（発展）	3後	1			2	1		1		
	医用安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2				1				
		医用機器安全管理学実習	3後	2						1		
		関係法規	2後	2			1					
		人間工学	2後		2		1					
		臨床人間工学	3前		2		1					
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ（外科、内科、感染症等）	2後	2								兼1
		臨床医学総論Ⅱ（腎臓泌尿器系、消化器系等）	3前	2								兼1
		臨床医学総論Ⅲ（麻酔科学、手術部医学）	3後	2								兼1
		臨床検査概論	3前		2							兼1
		救急救命医学	3後		2							兼1
		チーム医療論	4前		2		2	1		1		
	臨床実習	臨床実習	4前	4			2	1		1		
	その他	臨床工学セミナー	4前		2		5	3		1		
		卒業研究	4通	4			5	3		1		
小計（32科目）		—	51	16		5	3	0	1	0	兼3	
合計（112科目）		—	102	99		15	9	0	1	0	兼71 兼66	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
53	59	0	112	53	59	0	112	
				[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 (平成27年度該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (平成27年度該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年度、授業科目を未開講又は廃止なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{[]}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	87,669.16㎡	0 ㎡	0 ㎡	87,669.16㎡				
	運動場用地	38,015.93㎡	0 ㎡	0 ㎡	38,015.93㎡				
	小 計	125,685.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	125,685.09㎡				
	そ の 他	8,818.66㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,818.66㎡				
	合 計	134,503.75㎡	0 ㎡	0 ㎡	134,503.75㎡				
(2) 校舎	専 用		共 用	共用する他の学校等の専用	計	建築計画と登記上の面積の誤差が生じたため(27)			
	100,302.33㎡		0 ㎡	0 ㎡	100,302.33㎡				
	100,677.69㎡				100,677.69㎡				
	(100,302.33㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(100,302.33㎡)					
	(-100,677.69㎡)			(-100,677.69㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	77室	34室	94室	14室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学部 臨床工学科			15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	既存学科で所蔵している図書・学術雑誌が多数あったため新規購入書籍数は減り、新設学科の教育充実のため購入物品を増加した(27)	
	工学部 臨床工学科	1,000 [150] (265 [4]) (1,000 [150])	10 [0] (0 [0]) (10 [0])	1 [0] (1 [0])	28 20 (28) (-20)	700 652 (651)	41 34 (41) (-34)		
	計	1,000 [150] (265 [4]) (1,000 [150])	10 [0] (0 [0]) (10 [0])	1 [0] (1 [0])	28 20 (28) (-20)	700 652 (651)	41 34 (41) (-34)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	5,021.54㎡		629席		232,000冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,706.61㎡		野球場1面、サッカー場1面、テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む 既存学科で所蔵している図書・学術雑誌が多数あったため、新規購入書籍数は減少した。新設学科の教育充実のため設備購入は増加した(27)
		教員1人当り研究費等	209千円	209千円	図書購入費	1,320千円 6,000千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	1,344千円	1,344千円	設備購入費	100,209千円 99,967千円	10,584千円	10,000千円 0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,650千円	1,470千円	1,480千円	1,490千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神 奈 川 工 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	120	-	540	学士 (工学)	1.18	昭和50年度	神奈川県厚木市下荻野1030	平成27年度定員変更 140人→120人(△20人)
電気電子情報工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.20	昭和50年度	同上	
応用化学科	4	60	-	240	学士 (工学)	1.28	昭和50年度	同上	
情報学部									
情報工学科	4	140	-	560	学士 (工学)	1.24	平成15年度	同上	
情報ネットワーク・ コミュニケーション 学科	4	95	-	395	学士 (工学)	1.14	平成16年度	同上	平成27年度定員変更 100人→95人(△5人)
情報メディア学科	4	150	-	660	学士 (工学)	1.20	平成16年度	同上	平成27年度定員変更 170人→150人(△20人)
創造工学部									
自動車システム開発 工学科	4	50	-	275	学士 (工学)	1.12	平成18年度	同上	平成27年度定員変更 75人→50人(△25人)
ロボット・メカトロ ニクス学科	4	40	-	280	学士 (工学)	1.25	平成18年度	同上	平成27年度定員変更 80人→40人(△40人)
ホームエレクトロニ クス開発学科	4	40	-	190	学士 (工学)	1.20	平成20年度	同上	平成27年度定員変更 50人→40人(△10人)
応用バイオ科学部									
応用バイオ科学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.18	平成18年度	同上	
栄養生命科学科	4	80	-	320	学士 (栄養学)	1.01	平成22年度	同上	
看護学部									
看護学科	4	80	-	80	学士 (看護学)	1.01	平成27年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員 定員	収容定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 年 度	設 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
工学研究科 博士前期課程									
機械工学専攻	2	14	-	28	修士 (工学)	0.50	平成元年度		神奈川県厚木市下荻野1030
電気電子工学専攻	2	16	-	32	修士 (工学)	0.88	平成元年度		同上
応用化学・バイオサイ エンス専攻	2	16	-	32	修士 (工学)	1.22	平成元年度		同上
機械システム工学専攻	2	14	-	28	修士 (工学)	0.64	平成2年度		同上
情報工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.47	平成8年度		同上
ロボット・メカトロ ニクスシステム専攻	2	6	-	12	修士 (工学)	1.25	平成22年度		同上
工学研究科 博士後期課程									
機械工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.00	平成5年度		同上
電気電子工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	平成6年度		同上
応用化学・バイオサイ エンス専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.17	平成5年度		同上
機械システム工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	平成5年度		同上
情報工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	1.17	平成8年度		同上

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 臨床工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	磯村 恒 (66)	平成27年4月	基礎医学実習 電気工学Ⅰ (直流回路・交流回路) 電気工学Ⅱ (過度現象・電磁気学) 電気工学実習 システム制御工学Ⅰ (基礎) システム制御工学Ⅱ (発展) システム制御工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	教授	松尾 崇 (65)	平成27年4月	基礎医学実習 病理学 医用工学概論 生体計測機器学Ⅱ (発展) 生体計測機器学実習 放射線概論 画像診断機器学 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	教授	松田 康広 (47)	平成27年4月	基礎医学実習 機械工学 機械工学演習 計測工学 応用数学 応用数学演習 情報処理工学 情報処理工学実習 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	教授	鈴木 聡 (48)	平成27年4月	基礎医学実習 生体計測機器学実習 血液浄化装置学 人間工学 臨床人間工学 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ (基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ (発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	山家 敏彦 (60)	平成27年4月	基礎医学実習 生体計測機器学実習 医用機器学概論 生体機能代行装置学Ⅱ(発展) 関係法規 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	准教授	大瀧 保明 (40)	平成27年4月	基礎医学実習 電子工学Ⅰ(基礎) 電子工学Ⅱ(発展) 電子工学実習 医用電気電子工学実習 材料工学 生体計測機器学Ⅰ(基礎) 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	准教授	渡邊 紳一 (44)	平成27年4月	医学概論 解剖学 基礎医学実習 生理学 医療統計学 生体計測機器学実習 臨床工学セミナー 卒業研究						
専	准教授	木浦 千夏子 (49)	平成27年4月	基礎医学実習 生体計測機器学実習 生体物性工学 医用治療機器学Ⅰ(基礎) 生体機能代行装置学Ⅰ(基礎) 呼吸療法装置学 医用機器安全管理学 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	渡邊 晃広 (36)	平成27年4月	基礎医学実習 生体計測機器学実習 医用治療機器学Ⅱ(発展) 体外循環装置学 医用機器安全管理学実習 医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎) 生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展) チーム医療論 臨床実習 臨床工学セミナー 卒業研究						

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	尾崎 正延 (67)	平成27年4月	暮らしの経済 人文社会科学演習 経済学						
兼任	教授	山本 聡 (58)	平成27年4月	日本国憲法 法学					日本国憲法	平成27年4月科目担当を辞退(他に担当者がいるため補充なし)(27)
兼任	教授	安塚 俊行 (68)	平成27年4月	現代社会の心理学 心理学	兼任	講師	三橋 大輔 (40)	平成27年4月	現代社会の心理学	平成27年4月担当教員の変更(27)
兼任	教授	込田 伸夫 (65)	平成27年4月	ヨーロッパ歴史と文化 英語 I						
兼任	教授	坂場 順子 (66)	平成27年4月	英語III						
兼任	教授	泉川 喬一 (69)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 I 学外スポーツ						
兼任	教授	荒川 勝彦 (60)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 II 学外スポーツ	兼任	教授	泉川 喬一 (69)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 II	平成27年4月担当教員の変更(27)
兼任	教授	米田 二良 (63)	平成27年4月	身の回りの数学						
兼任	教授	藤村 陽 (52)	平成27年4月	実感する科学 I						
兼任	教授	三井 和博 (62)	平成27年4月	実感する科学 I					実感する科学 I	平成27年3月教授辞任のため(他に担当教員がいるため補充なし)(27)
兼任	准教授	岡本 剛 (41)	平成27年4月	医療情報セキュリティ						
兼任	准教授	田辺 基子 (43)	平成27年4月	教育学						
兼任	准教授	三浦 直子 (45)	平成27年4月	少子高齢化と社会問題 マスメディア論 社会学					マスメディア論	平成27年3月担当科目を辞退(他に担当教員がいるため補充なし)(27)
兼任	准教授	師玉 真理 (49)	平成27年4月	比較文化論 文章表現技術 プレゼンテーション技術 技術文章の書き方					文章表現技術	平成27年3月担当科目を辞退(他に担当教員が多数いるため補充なし)(27)
兼任	准教授	大木 富 (57)	平成27年4月	英語 II					英語 II	平成27年3月担当科目を辞退(他に担当教員がいるため補充なし)(27)
兼任	准教授	岩本 弘道 (56)	平成27年4月	英語IV TOEIC I	兼任	准教授	大木 富 (57)	平成27年4月	英語IV	平成27年4月担当教員の変更(27)
兼任	講師	吉川 邦衛 (70)	平成27年4月	公衆衛生学	兼任	講師	松木 英明 (64)	平成27年4月	公衆衛生学	平成27年3月講師辞任のため平成27年4月より担当の変更(27)
兼任	講師	五十嵐 一郎 (69)	平成27年4月	日本近現代史	兼任	講師	荒船 俊太郎 (37)	平成27年4月	日本近現代史	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
兼任	講師	布川 純子 (61)	平成27年4月	文学 文章表現技術						
兼任	講師	趙 聖九 (55)	平成27年4月	アジアの文化と社会						
兼任	講師	久保 幸恵 (42)	平成27年4月	国際化と異文化理解						
兼任	講師	三橋 大輔 (40)	平成27年4月	心理学						
兼任	講師	山田 博雄 (56)	平成27年4月	政治学						
兼任	講師	中畑 邦夫 (43)	平成27年4月	宗教と倫理 倫理学						
兼任	講師	於保 真理 (55)	平成27年4月	社会参加とボランティア						
兼任	講師	鍋倉 早百合 (49)	平成27年4月	現代社会の心理学						
兼任	講師	豊田 紳 (32)	平成27年4月	政治学						
兼任	講師	阪井 裕一郎 (33)	平成27年4月	社会学						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	渡辺 演久 (39)	平成27年4月	日本国憲法					日本国憲法	平成27年4月担当科目を辞退(他に担当者があるため補充なし)(27)
兼任	講師	平松 啓央 (35)	平成27年4月	芸術論						
兼任	講師	中村 美智太郎 (39)	平成27年4月	哲学						
兼任	講師	岩壁 清吉 (66)	平成27年4月	スタディスキル 文章表現技術						
兼任	講師	桑田 学 (33)	平成27年4月	環境論	兼任	講師	深谷 直弘 (33)	平成27年4月	環境論	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
				文章表現技術 プレゼンテーション技術	兼任	講師	山田 陽 (35)	平成27年4月	文章表現技術	
兼任	講師	山本 崇広 (39)	平成27年4月	経済学 文章表現技術 プレゼンテーション技術						
兼任	講師	高橋 真悟 (40)	平成27年4月	文章表現技術 プレゼンテーション技術						
兼任	講師	水田 隆 (35)	平成27年4月	文章表現技術						
兼任	講師	寺川 隆一郎 (37)	平成27年4月	プレゼンテーション技術						
兼任	講師	新井田 智幸 (33)	平成27年4月	文章表現技術	兼任	講師	江連 成美 (48)	平成27年4月	文章表現技術	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
兼任	講師	比嘉 徹徳 (41)	平成27年4月	文章表現技術						
兼任	講師	越川 靖子 (39)	平成27年4月	企業と経営						
兼任	講師	楠 秀樹 (45)	平成27年4月	生命倫理 マスメディア論						
兼任	講師	多田 庶弘 (51)	平成27年4月	日本国憲法 法学						
兼任	講師	堅谷 宏一 (50)	平成27年4月	英語 I					英語 I	平成27年4月担当科目を辞退(他に担当者があるため補充なし)(27)
				英語 II						
兼任	講師	小暮 正人 (54)	平成27年4月	英語IV					英語IV	平成27年3月講師辞任(他に担当者があるため補充なし)(27)
兼任	講師	宮城 学 (53)	平成27年4月	英語 II						平成27年4月担当科目を辞退(他に担当者があるため補充なし)(27)
				英語IV 英語VI					英語IV	
兼任	講師	井上 克彦 (70)	平成27年4月	英語 III					英語 III	平成27年4月担当科目を辞退(他に担当者があるため補充なし)(27)
				英語VI						
兼任	講師	西田 佳子 (49)	平成27年4月	英語VI						
兼任	講師	浅川 友幸 (36)	平成27年4月	英語 V						
兼任	講師	佐藤 里野 (34)	平成27年4月	英語 V						
兼任	講師	森下 早也香 (44)	平成27年4月	英語 III					英語 III	平成27年3月講師辞任(他に担当者があるため補充なし)(27)
兼任	講師	四戸 慶介 (31)	平成27年4月	英語 V						
兼任	講師	David Brennan (39)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II 英会話 IV	兼任	講師	David Laheist (38)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
					兼任	講師	Aaron Harris (37)	平成27年4月	英会話 IV	
兼任	講師	Andrew Ash (55)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II	兼任	講師	Justin Rooks (39)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
兼任	講師	Michael Smith (46)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II 英会話 III						
兼任	講師	Michelle Trice (34)	平成27年4月	英会話 I	兼任	講師	Aaron Harris (37)	平成27年4月	英会話 I	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
兼任	講師	Lester Walbrugh (41)	平成27年4月	英会話 I 英会話 II						
兼任	講師	菱山 士朗 (38)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 I	兼任	講師	並木 和彦 (52)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 I	平成27年3月講師辞任のため担当者変更(27)
兼任	講師	深見 将志 (30)	平成27年4月	ソリューションズ 生涯スポーツ実技						
兼任	講師	並木 和彦 (52)	平成27年4月	健康・スポーツ科学実習 II						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	谷戸 光昭 (40)	平成27年4月	身の回りの数学						
兼任	講師	松本 圭子 (36)	平成27年4月	情報リテラシー						
					兼任	准教授	吉野 和芳 (46)	平成27年4月	情報リテラシー	平成27年4月から教育の充実を図るため担当教員を追加(27)
					兼任	講師	Brad Burgess (47)	平成27年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅲ	平成27年4月から教育の充実を図るため担当教員を追加(27)
					兼任	講師	David Tsujimoto (33)	平成27年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	平成27年4月から教育の充実を図るため担当教員を追加(27)
					兼任	講師	Adam Connor (34)	平成27年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	平成27年4月から教育の充実を図るため担当教員を追加(27)
					兼任	講師	Wayne Watson (47)	平成27年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	平成27年4月から教育の充実を図るため担当教員を追加(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	3	0	1	9	5	3	0	1	9	教授 70 と 65 准教授・講師 65 助教 60 歳	0 名	— 歳	— 名
(5)	(3)	(0)	(1)	(9)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]				

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 (該当なし)

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等 (特になし)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教務委員会 (規定別添①)</p> <p>教育開発センター (規定別添②)</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>教務委員会 月に1回 (その他随時) 会議を開催、委員として全学学科より1～2名選出・教育開発センター所長出席。</p> <p>教育開発センター 月に1回 (その他随時) 会議を開催、所員を選出・教育開発センター所長。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教務委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム、学籍、成績・進級・卒業、履修、単位認定等の審議及び報告・連絡。 <p>教育開発センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育のPDCAの実施、検証。 ・ FD・SDの企画立案、実施、検証。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学士課程の構築 ・ 授業方法について ・ 授業評価アンケート ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 ・ 教職員研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会・教育開発センターにて協議され、大学協議会にて承認がなされ学長により決定される。 <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケート (平成26年度) 実施率 専任教員99.4%・非常勤講師94.9%。 ・ 教員相互の授業参観 任意参加 (平成27年6月15日(月)～27日(土)予定、11月2日(月)～30日(月)予定)。 ・ 教職員研修会 専任教職員全員参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートを集計し「より良い教育を目指して」冊子を作成している。また、「授業改善ヒント集」冊子を作成し、全教職員に配布することにより、教員の授業力向上をはかり、学生のレベルアップに寄与している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケート（平成27年7月2日(木)～7月16日(木)予定、12月9日(水)～12月25日(金)予定）。

b 教員や学生への公開状況，方法等

授業アンケートを集計し「より良い教育を目指して」冊子を作成している。全教職員に配布するとともに学生にも公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今日の高度な医療機器を適切に運用、操作するためには、医療に関する専門知識や技術のみならず、工学的専門知識や思考法をしっかりと身に付けている人材の育成が急務との社会的要請に基づき本学科を設置した。臨床工学技士として必要となる幅広い視野や人間性を養い、臨床工学に関する専門的知識と実践的技術を有し、医療機器の安全性確保と有効性維持に貢献するとともに、患者中心のコミュニケーション能力を習得し、チーム医療の中で臨床工学技士の役割を果たしていくことができる人材を養成することを教育の目的にしている。本年4月に入学した1期生に対する医療に関する専門知識、工学的専門知識や思考法の教育については、全ての開講科目において学生の理解度や学習困難点を毎回確認するとともに、学科教員間で学生の状況を共有して教授法の工夫を図っている。また、幅広い視野や人間性を養うために、授業はもとより授業外で学生と接する機会を積極的に設けている。このように、設置目的に関しては、学生を受入れ後短期間ではあるが、順調に計画達成に向かって推移している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年1月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員全員及び希望があった学生に各1冊を配布のほか、関連大学および厚木中央図書館へ配付

・大学ホームページ上に公開予定（平成29年1月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 27 年 8 月 1 日)